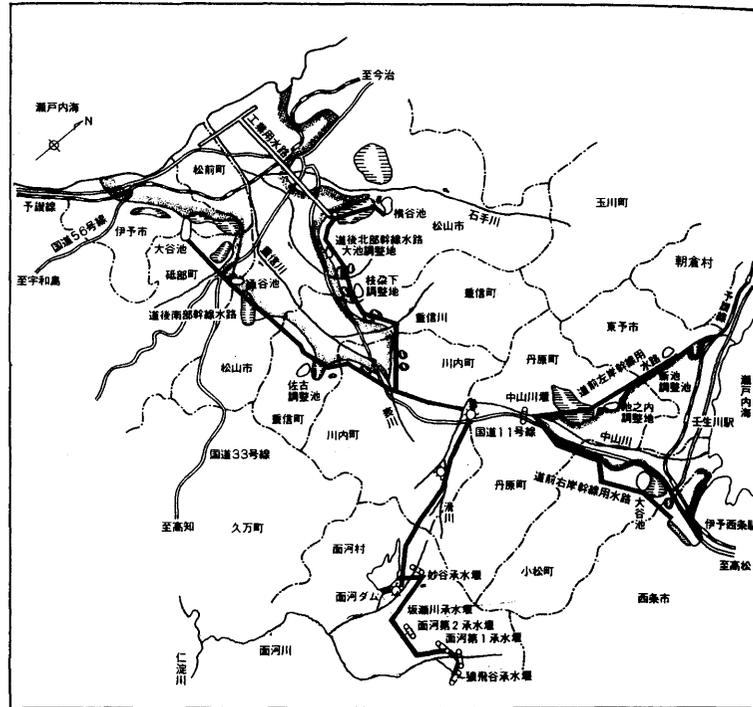


第83図 国営土地改良調査道前道後二期地区概要図



凡 例		受益面積	
	用水路		用水改良 9,200ha
	用水路 (既設・他事業)		畑地かんがい 2,600ha
	頭首工		その他 300ha
	調整池		ダム(既設) 計 12,100ha



題は大いに緩和されたが、園芸の発達と共に農業用水の需要は増すばかりである。道前道後平野農業水利事業の完遂と経営的、技術的進歩にともない、本市に於ても三秋、森の一部を除いて果樹園全域にかん水施設の完備を見ている。

4 道前道後平野農業水利事業

道前・道後平野地域の用水不足を解消するため、昭和三二年度に着手した国営農業水利事業(以下「二期事業」という。)は、発電・工業用水・農業用水の確保の目的で、同四二年度に有効貯水量二、六八〇万トンの面河ダムが完成した。更に、これに付帯して実施された県営事業によって、末端の受益地まで農業用水の円滑な補給が行われるようになり、現在伊豫市においては水田約八一〇㊦、畑約二八〇㊦がその恩恵を受けている。

しかし、一期事業完了後、農業情勢も大きく変ぼうし、水需要にも変化が生じてきた。その主要なものは次のとおりである。

①田植機の普及・兼業の進行で、用水の短期集中による水不足、②都市化の進展に伴う地下水の水位の低下、③ほ場整備が進むに従い、用排分離による減水深の増大、④転作の普及による通年給水の要望の増大等、また、施設についても完成後、約二〇年近くにもなり、老朽化・旧式化さらに安全性の低下が目立っている。このようなことから、国営二期事業として、農業用水の需要構造の変化に対し、新規水源の確保を図ることと、施設の近代化・合理化をすすめるために、現在事前調査が行われている。(第83図参照)

わなかった。また、父母に孝養を尽くしてよく仕え、その心を慰めた。彼は博学でまた、詩文・和歌・書画を能くし遺墨も少なくない。

一八九三年(明治二六)一月三日、松山で病のため没した。享年七八歳であった。門人等請うて郡中栄養寺に葬った。子規は、「極楽や君が行く頃梅の花」の句を作って五友の死を悲しんだ。

田中 休

一八三一年(天保二)二月七日、八倉に生まれた。天資温厚着実、幼時から学を好み、武智愛山先生について漢籍を修め俳諧を能くした。一八五三年(嘉永四)六月、亡父の後を継いで八倉村庄屋職を拝命してから、常に村治に意を用いたので、治績は大いに上がった。村人でその徳を仰がない者はなかった。明治六年二月新政府改革で職を退き、その後、公職につき、また各名譽職に推選されることが少なくなかった。絶えず公共事業に尽力し、功労はすこぶる大きかった。明治三六年八月一七日七二歳で没した。

武智 惣五郎

一八八六年(明治一九)一月一日、上三谷村に生まれた。同四〇年一二月、南伊予村書記となり、更に同四四年九月収入役、その後助役となり、一九二一年(大正一〇)一〇月には村長となった。

村政に専念するかたわら、伊予郡農会評議員、同警友会顧問、同購売組合連合会長、愛媛県樟模範林保護組合長、産業組合中央会愛媛支会の評議員として郡や県の事業に尽力すると共に、村の産業組合や養蚕組合、農会等の会長または組合長として各方面に活動し、村の中心となって村政に当たっていたが、一九二六年(大正一五)七月、村長の職を辞した。

昭和四年一月、再び村長となり、昭和二年一月までその職にあって村内はもとより広く地方行政に尽くした。この間、伊予郡町村会長、全国町村長会理事等を勤め、昭和一五年一二月からは県会議員として県政に参与した。昭和三〇年伊豫市の発足に伴い、伊豫市初代の市議会議長として市政にも尽力した。

こうして長い間、公職にあって地方行政面に力を注いだ。この間特筆すべき功績は大谷池の開発であった。大谷から流れている大谷川は日頃は水に乏しいが、一たび大雨が降れば洪水となり田畑や作物を流して人人を苦しめた。また、大谷川に沿った地帯には六〇〇数十畝の水田があって、付近の池から灌漑用水を取っていたが、日照りが続けば池の水は枯渇して干ばつを引き起こした。そこで大谷池の開発を考え、一〇年余の苦心を重ねて昭和六年その許可を受け、翌昭和七年一月から工事に着手した。

その後、種種の難関を乗り越え、苦難を克服し、一四年の歳月をかけてついに昭和二〇年三月に完成した。この大谷池築造の陰には、氏の不屈な意志と揺るぎない卓見が秘められている。

大谷池の堤防には氏の長年にわたる功勞とその徳をたたえて頌徳碑を、また、伊予小学校校庭には胸像が建てられている。なお、昭和三四年には、藍綬褒賞が授けられた。

昭和三七年八月三〇日、七七歳で没した。

武智 政右衛門

一八七三年(明治六)二月一日、中村に生まれた。酒造業を営むかたわら、北山崎村村会議員となり村政に力を注いだ。

特に、郡中一長浜線の郡道改修工事に当たっては、その中心となってこれに尽力し、完成の結果は地方民